

新宿情報ビジネス専門学校

2021年度 第5回プログラミングコンテスト開催

創立41周年を迎えた新宿情報ビジネス専門学校では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、例年開催している学園祭を中止し、その代わりにスピーチコンテストのみを感染防止に配慮したうえで開催した。

その後、スピーチコンテストだけでなく、プログラミングスキルを披露したい、という学生の要望があったため、授業科目であるAndroidアプリ開発の成果物発表会をプログラミングコンテストとして開催した。

プログラミングコンテストの参加者は当校情報ビジネス学科2年生全員で、プレゼンテーション能力と成果物であるAndroidアプリにより、選考を行った。学生は、「構想を練る」「出した案と類似するアプリがあるかどうかの調査」「開発」と、ただ開発するだけでなく、市場調査も併せて行い、実際のアプリ開発の手順を疑似体験して、プレゼンテーション時には類似アプリと自身のアプリの差異・強み弱みも説明した。学生は発表をするときに緊張気味ではあったが、自身が調査した内容、自身でコーディングしたプログラムの説明など、自身の言葉で聴衆に懸命に伝えていた。

コンテストの結果、岩崎滉也さんの楽曲を可視化するアプリ「音楽ファイル可視化アプリ」が優秀賞に、今井遼輔さんのパスワードの強度チェック機能などを含むパスワード管理アプリ「パスワード管理アプリ」が努力賞に選ばれた。

各自の発表後には、講師など参加者から質問や講評をいただき、「現状の把握や今後の課題を見つけることできた」といった声も聞くことができ、プログラミングコンテストの開催意義を確認できた瞬間でもあった。また課題だけではなく、できたところ、自身で努力したと自信をもって述べることもできたことが、各々の一つの財産になったのではないだろうか。今後の彼らの更なる成長に期待できるコンテストとなった。

